

目次

- エレベーター構成 1
 - マルチ出力モジュール、OM-120 1
 - 機能 1
 - エレベーター接続構成 2
- 物理的な構成と設定 2
 - 36階の建物で4台のエレベーターを制御する 4
 - フロア設定 4

OM-120

エレベーター構成

BioStar

2.4.0に統合されたエレベータが異なるフロアで停止することを許可および制御する機能が追加されています。

このドキュメントでは、エレベータの構成に必要な物理的な統合方法とコンポーネントについて説明します。

マルチ出力モジュール、OM-120



OM-120は12リレー出力制御モジュールです。BioStar 2と一緒に使用すると、エレベータから選択したフロアへのアクセスを制御できます。

1つのコントローラーに対して、RS-485デジチェーンを使用して最大16台のOM--、AUX入力もサポートします。

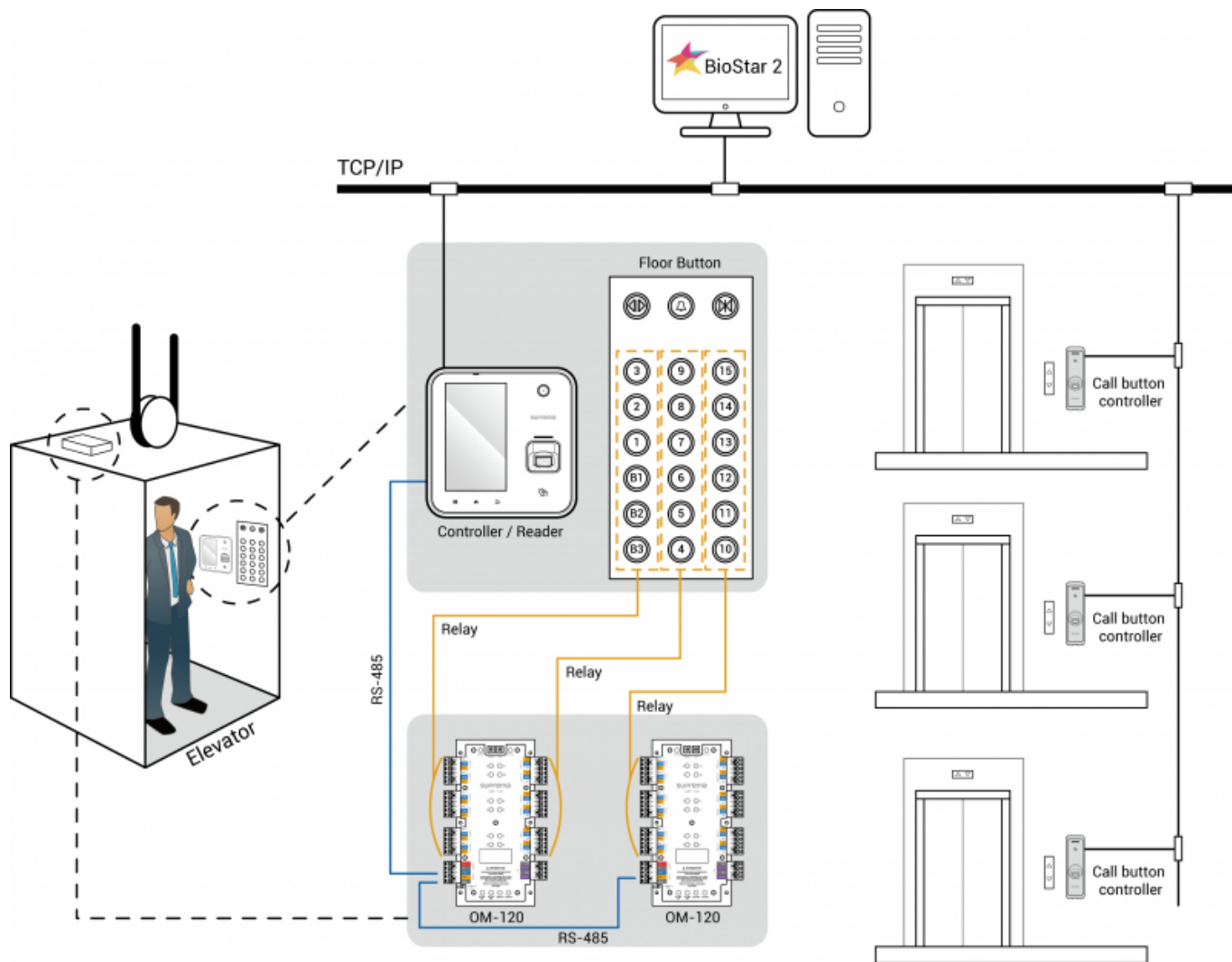
さらに、アンチパスバックゾーンや火災報知ゾーンなどの機能と一緒に使用することもできます。

機能

- 各モジュールは12個のリレーをサポートします。
- BioStar 2の各エレベータ構成は、最大192フロア（12リレーx 16 OM-120）を制御できます。
- アンチパスバックアラームがトリガーされると、特定の信号を送信するように設定できます。
- 選択したエレベータグループは、火災警報ゾーンで追加および管理できます。

- RS-485接続を可能にする終端抵抗が内部に装備されています。

エレベーター接続構成



物理的な構成と設定

BioStar 2でエレベータを構成する場合、3つの必須要素は**コントローラー**、**リーダー**、**モジュール**です。

- **コントローラー**
はリーダーでスキャンされたクレデンシャル情報をチェックしてアクセスグループと照合し、スレーブデバイスのリレーを制御するために使用されます。1台のマスター端末を選択できます。
- **リーダー**
はエレベータ内に設置され、クレデンシャル情報をスキャンするために使用されます。マスターデバイス、スレーブデバイス、ウィーガンドデバイスの中から複数のデバイスを選択できます。
- **モジュール**

はコントローラの認証結果の結果として、エレベータのボタンに制御信号を送信するために使用されます。OM-120でのみ設定可能で、複数のモジュールを選択できます。

Configuration

- Controller: BioStation A2 541531008 (192.168...)
- Reader: BioStation A2 541531008 (192.168...)
- Module: OM-120 12345678

Floor

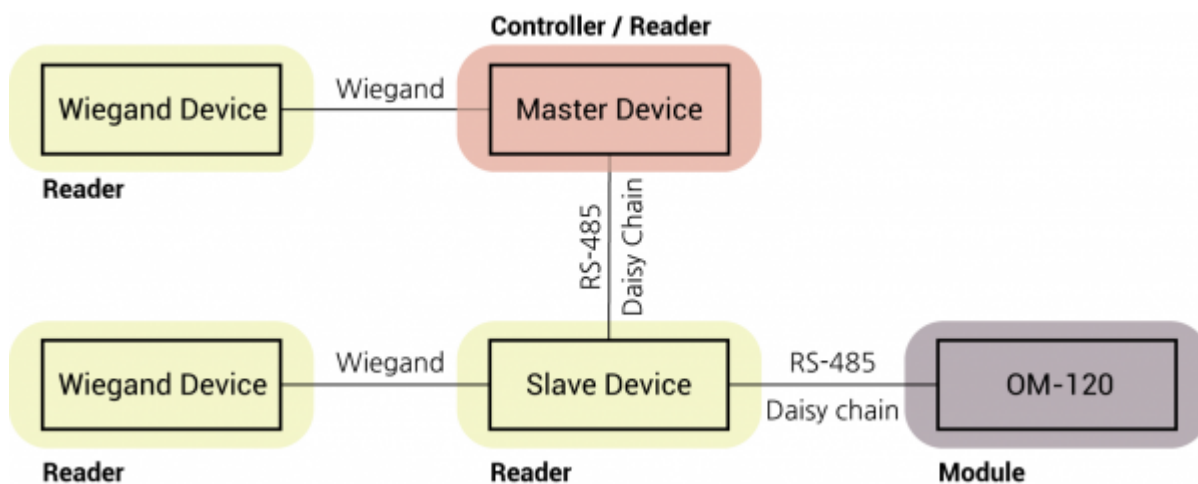
- Total Number of Floors: 12
- Auto-mapping: Auto-mapping

Floor Settings

Floor Name	Device	Relay Number	
Elevator 1 - 1	OM-120 12345678	Relay 0 of OM-120 12345678 De...	<input type="button" value="🗑"/>
Elevator 1 - 2	OM-120 12345678	Relay 1 of OM-120 12345678 De...	<input type="button" value="🗑"/>
Elevator 1 - 3	OM-120 12345678	Relay 2 of OM-120 12345678 De...	<input type="button" value="🗑"/>
Elevator 1 - 4	OM-120 12345678	Relay 3 of OM-120 12345678 De...	<input type="button" value="🗑"/>
Elevator 1 - 5	OM-120 12345678	Relay 4 of OM-120 12345678 De...	<input type="button" value="🗑"/>

[BioStar 2エレベーター設定]

エレベータ構成の各デバイスの物理的な接続と機能は以下のとおりです。

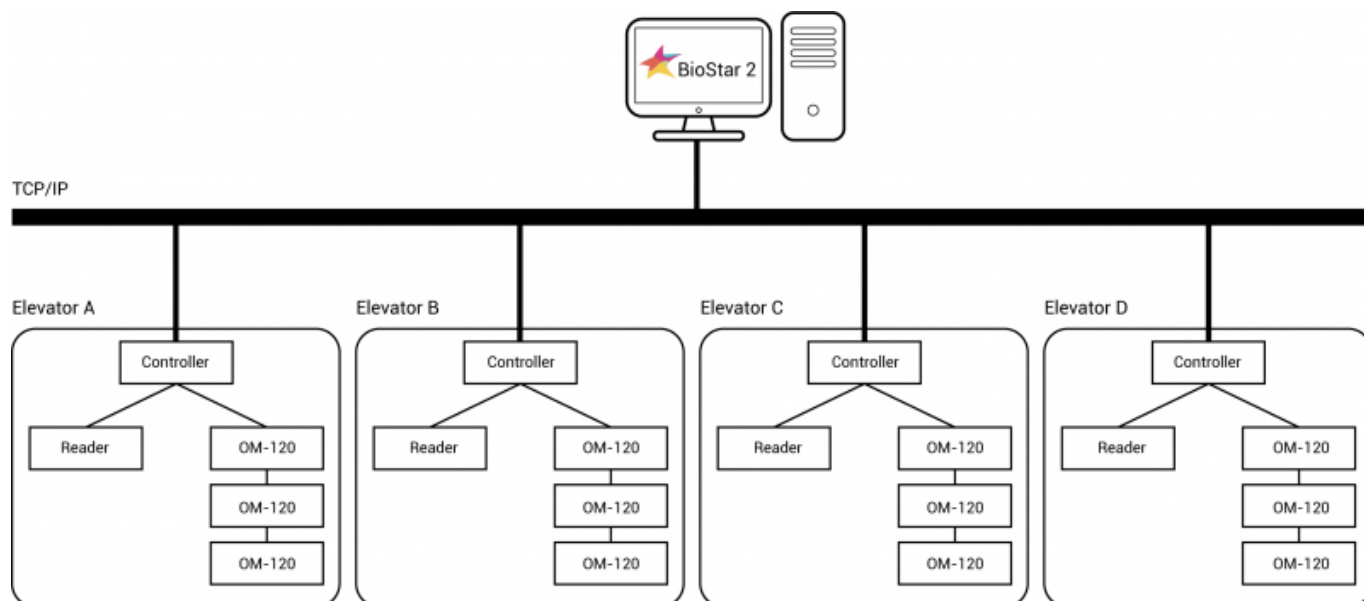


ノート

- エレベータを構成するには、**Advanced**ライセンスをアクティブする必要があります。
- BioEntry Plus, BioLiteNet, and BioEntry WはOM-120をサポートしません。

36階の建物で4台のエレベーターを制御する

物理構成は、下の画像のように接続できます。



フロア設定

配線作業後、エレベーターボタンをアクティブにするには、BioStar 2から各フロアへの権限とアクセスグループの設定が必要です。

アクセスコントロールメニューでフロアレベル追加

をクリックします。登録済みのエレベータを選択し、アクセス権限を設定する各フロアの名前を選択します。各エレベータが動作するフロアレベルを設定する作業です。

BioStar2で最大128フロアレベルが生成できます。

以下のエレベーターの設定は、6階まで作動するエレベーター1の例です。

• Name

• Description

Elevator	Floor Name	Schedule	+ Add
Elevator 1	Elevator 1 - 1 + 5	Always	

Search

- Elevator 1 - 1
- Elevator 1 - 2
- Elevator 1 - 3
- Elevator 1 - 4
- Elevator 1 - 5
- Elevator 1 - 6
- Elevator 1 - 7
- Elevator 1 - 8
- Elevator 1 - 9

[フロアレベル設定]

フロアレベル設定後、アクセスコントロールメニューのアクセスグループ追加をクリックして、フロアレベルを指定するユーザーを選択します。

• Name

• Description

• Access Rule

Access Level	+ Add	Floor Level	+ Add
		FL 1	

User Group	+ Add	User	+ Add
		3(User 000)	
		10(User 001)	
		11(User 002)	
		12(User 003)	
		13(User 004)	

上記の設定で、5人のユーザー(ユーザー3, 10, 11, 12, 13)がエレベーター1の1階から6階にアクセスできるボタンを使用できます。

From:

<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:

http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:tc_appnote_om120_elevator_configuration&rev=1605505793

Last update: **2020/11/16 14:49**